

和歌山商工会議所経営発達支援計画 令和 5 年度事業評価委員会議事録

① 開催日時:令和 5 年 7 月 25 日(火) 10:00~11:15

② 会 場:和歌山商工会議所 4 階特別会議室

③ 出席者:<委 員>

(一社)和歌山県中小企業診断協会 会長 中村達也

(一社)和歌山銀行協会 専務理事 日野和彦

和歌山県 商工観光労働部 商工振興課長 今井善人

和歌山市 産業交流局 産業部長 森永起久夫

和歌山商工会議所 専務理事 田中一壽

<事務局>

和歌山商工会議所 企業支援部長 野田浩史

企業支援部参事 関本禎孝

企業支援部参事 白井志功

経営相談課長 山田泰宏

経営相談課 田上裕己

④ 議 事

令和 4 年度経営発達支援計画事業 下記の各項目に関して順に説明を実施。

<Ⅰ.経営発達支援事業の内容>

- 1.地域の経済動向調査に関する事
- 2.経営状況の分析に関する事
- 3.事業計画策定支援に関する事
- 4.事業計画策定後の実施支援に関する事
- 5.需要動向調査に関する事
- 6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事

<Ⅱ.地域経済の活性化に資する取組>

- 1.わかやま商工まつりの開催
- 2.ふるさと愛運動の取り組み
- 3.IT・IOT を活用した生産性向上支援
- 4.若者の地元就職のための U ターン事業

各委員からの意見を下記に記載。

委 員

県の融資状況について、ゼロゼロ融資は令和 2 年度で概ね 300 億円程だったが、2,000 億円に上り、その後 400 億円までに下がっている。今後返済が本格化していく中で、返済猶予と条件変更が増加して

いる。令和３年度では約６０件だったものが、倍以上に増加しており、今後も増えてくる見込み。

各事業所にとって、苦しい状況であるが、従来の経営改善普及事業と今回の経営発達支援計画とはどのような関連性があるのか。

事務局

経営発達支援計画は対象が小規模事業者で、金融や税務などの各項目のみを取り扱うものではなく、小規模事業者の持続的な発展に向けて伴走していくことにより、経営戦略に踏み込んだ支援を実施するものです。その中の１側面として、経営改善普及事業のマル経が含まれます。融資を進めていくうえで、事業計画の策定や各種補助金の申請など一連の支援として、伴走する。

委員

マル経の令和４年度目標件数は９０件とあるが、アフターフォローなどの件数も含まれているのか。

事務局

含まれていない。委員の方から報告の件数として、挙げることが出来ない相談等へも対応しているので、相談やアフターフォローの件数なども出来る限り記載した方が良いのではないかと意見を頂戴しており、今回記載している。

委員

計画策定支援は会員限定なのか、非会員でも支援するのか。また、「事業計画策定件数」１６８件の内会員非会員の比率はどうか。

事務局

支援の対象については、会員、非会員、関係ない。比率については、支援の流れで入会いただくことがあり、不明。出来る限り入会を促すようにしている。

委員

組織率の向上にはぜひ取り組んでいただきたい。

最後に、経営発達支援計画に記載の資金調達計画について、中小企業相談所特別会計として計上されている金額は同会計予算総額なのか、もしくは一部なのか。

また、伴走型小規模事業者支援推進事業に係る補助金は交付されているのか。

事務局

中小企業相談所特別会計の一部と商工まつりに関する予算が計上されている。

また、同補助金も交付されている。当初、本計画を策定した際には多額の補助金の交付を受けていたが、同計画の認定を取得する会議所が全国で増加することに伴い、１会議所あたりの補助金額が減少している。現状では、申請額の低い会議所から優先して、採択されている。

委員

国としても財源が伴っていないように感じる。令和 7 年度以降の事業計画では改めて検討を重ねたいと考えている。また、地方行政として、国に提言しないといけないこともあるかと思うので、また話し合いを重ねたい。

事務局

本日、(一社)中小企業診断協会の中村会長は急用で出席が叶わなかったが、意見を預かっているの
で、この場で申し上げる。商工会議所の経営発達支援計画に係る事業を進めていくにあたって、協会として
も協力すべきとの思いがある。専門家の無料相談会については、万が一予算がない場合でも無料で協力し
たいとの思いがある。

事務局

需要開拓に関する事業について、出展事業の成約件数などは会議所が主体的に取り組めば、ある程度
の件数は達成できると考えられるが、売上増加事業所数、利益率 5%以上増加の事業者数の 2 項目につ
いては、会議所の力だけでは達成できない。事業所側の努力も必要で、フォローアップも含めて、達成に向
けた取り組みなどへのアドバイスを頂戴したい。

事務局

売上の増加、利益率の向上については、難しい。補助金を申請する事業所も増加しており、新規事業の
着手に伴い、売上は増加するものの、コロナ前と比較すると、なかなか売上が回復していないという声もあ
る。生産性向上の為、DX 化を進めていく。専門家の派遣やセミナー、(公財)わかやま産業振興財団ともタ
イアップし、事業所の利益率が上がるような施策に取り組む。

委員

事業報告書の「管内業界動向調査」・「小規模企業景気動向調査」について、これについてホームペー
ジに公表されているとのことだが、和歌山市も経済動向など公表していますので参考にさせていただきたい。
年 12 回、毎月出されている「管内業界動向調査」についてはいつ頃公表されるのか。

事務局

備考欄にも書いているが、各行政機関、業界団体が公表したものを、当所で集約し、ホームページにアッ
プしている。それぞれの行政機関や業界団体からの毎月の統計が出るのに、非常にバラつきがあり、項目に
よっては何カ月も前の情報というのものもある。各統計結果を揃えたうえで、随時ホームページにアップする。

委員

抽出データの提供をお願いすることもあると思うので、よろしく願いたい。

上半期下半期でだしている「景気動向調査」について、大半のDI 調査の中で上半期下半期とも新規設
備投資の意向調査をされているが、コロナに関する原料高等の影響の調査については上半期にあり、下半
期には見られない。時期によって内容は変えているのか。

事務局

基本的な項目については、同じであるが、付帯調査については、その時に必要な項目を入れている。

委員

新型コロナウイルス感染症も 5 類に移り、経済への影響は減ってきているのかと感覚として感じている。しかし、中小、零細企業には、未だ景気が上向いていない事業所もある。そうした事業所の情報を収集し、政策に反映していきたいと考えているので、重ねてご協力をお願いしたい。

事務局

本会議には提出していないが、会議所職員がヒアリングした情報を取りまとめた資料もある。市にもご覧いただき、小規模事業者を対象とした施策の企画立案に活用いただきたい。

また、(一社)和歌山銀行協会の日野専務から、「新たな需要の開拓に寄与する事業」については、アドバイスが出来るといった意見をいただいているので、今後は意見交換を行いながら事業者にとって一番良い方法で進めていきたい。